

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870104803
法人名	有限会社ヒメックス
事業所名	グループホームかがやき
所在地	愛媛県松山市東方町甲1438-1
自己評価作成日	平成21年 6月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月6日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一階は、利用者さんが居室で過ごすことを希望される方が多く、個人のペース・希望を尊重しつつ、気分転換の機会があるように配慮しています。水分摂取、食事摂取状況に気をつけて、不足にならないよう取り組んでいます。(水分の嫌いな利用者さんに対しては様々に工夫してとっていただけるように努めています)精神的に不安定な利用者さんに対しても、家族様と相談しながら落ち着いていただけるように努めています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

認知症の理解や対応等について認知症のケアテキスト等も用いながら事業所全体で具体的なケアについて勉強をされている。見守り重視で、利用者の自主性を尊重するケアに心がけておられる。夜間、入浴される方や脱衣の仕方、髪洗い方等についても、こだわりや希望に合わせ支援されている。又、若年の利用者等には、特に同性介助や羞恥心にも配慮されている。  
玄関先や庭には季節の花や野菜が手入れされており、世話をすることを楽しみにされている利用者もいる。

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者の</li> <li>利用者の2/3くらいの</li> <li>利用者の1/3くらいの</li> <li>ほとんど掴んでいない</li> </ol>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>毎日ある</li> <li>数日に1回程度ある</li> <li>たまにある</li> <li>ほとんどない</li> </ol>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームかがやき

(ユニット名) 1階ユニット

記入者(管理者)  
氏名 榊原あや

評価完了日 平成21年 6月15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			地域とのつながりも大切と思うが、入居希望者は地域外の方がほとんどであるため、特別に地域のための理念とはなっていない、入居される方への理念である。	
			(外部評価)	
		事業所は「ともに生きる ともに歩む」と理念を掲げ、「100%お年寄り中心の施設」を目指しておられる。職員の集まる場所には、理念をさらに具体的に示しておられた。	さらに、事業所が「地域密着型サービス」事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、この機会に話し合ってみてほしい。そのようなことを、運営推進会議時やご家族にも伝えていかれてほしい。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			隣近所とは挨拶などのつきあいがある。春の溝掃除、秋祭りには参加している。	
			(外部評価)	
		地域内の保育園の園児と地区内の他グループホームの利用者等が交流するレクリエーション「くたにンピック2008」に参加された。	利用者個々の生活をさらに広げていけるよう、事業所と地域とのつながりを深めていけるような取り組みが期待される。又、地域性も踏まえながら、事業所側から地域に向けてどのようなことができるか、この機会に話し合ってみてほしい。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			特別には行っていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	さらに今後、事業所では、会議時、いろいろな立場の 方の出席を働きかけていきたいと考えておられる。職 員の参加や利用者ご家族等、利用する側の立場の方 の参加もいただけるよう働きかけ、ご意見を引き出し、 サービス向上に活かしてほしい。
			運営推進会議が2ヶ月ごとに実施し、そこで出た意見 はスタッフに伝達したり、会議を通じて紹介のあった かに勉強会の講師をしていただいたりした。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価)	運営推進会議などで連絡・相談させていただいてい る。
			運営推進会議時、市社協の担当者の方から、ケア等の 事業所が抱えている課題について、意見やアドバイ スをいただいている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	玄関の施錠,身体拘束はしていない。
			玄関は開放されており、1階の居間からも庭に出るこ とができるようになっている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  OJTや日ごろの引継ぎ時などに話している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  現在成年後見制度を利用されているかたがない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時に説明し、要望、不安点などをお聞きしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  家族さまの意見はとりいれるように努力している。  (外部評価)  毎月ご家族に送付する書類の中に利用者の状況を書く欄を設けておられ、ご本人の日頃の様子を伝え、ご意見を求めておられる。ご家族の来訪時にも、ご意見をいただいている。	さらに、「お世話になっているのでこれ以上望んでは気の毒ではないか」というようなご家族の心情を踏まえ、ご家族から意見を引き出せるような働きかけや言葉かけの工夫を重ねていかれてほしい。例えば、利用者の日中の過ごし方やケアのあり方等についても、ご意見をうかがえるよう取り組まれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日ごろの話し合いにて、実現可能なこと(勤務時間の変更、体制の変更など)は行っている。	
			(外部評価)	
			野菜作りがお好きな利用者と職員で協力して菜園の作業をされており、トウモロコシやかぼちゃ、トマト等、たくさんの野菜が実っていた。又、職員のアイデアで野菜作り時の写真等をふんだんに採り入れた通信を作成し、共用空間に掲示されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			みな気持ちよくなるようにと考え、一人一人の努力の把握につとめている。残業の給与反映、昇給もあり。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			OJTを実施している。勤務に無理がないなら外部研修も可としている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			外部研修のとき交流ができる職員もいるが、全体としては交流が少ない。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)  努めている。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  本人さま家族様にとって一番必要なことを考えるようにしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)  暮らしの中で、利用者さんができることをしていただいている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  すべての家族様とではないが、連絡相談をして、知恵をお借りしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)  気軽にたずねていただけるように努めている。  (外部評価)  以前から通っていた絵画教室に現在も通っておられる方がいる。又、喫茶店やドライブ等、ご家族と週に2回、外出される方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 気が合う方同士は良く関わられるが、暴言のあるかた、ことばが話せない方の交流などは難しい。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退居してから、電話でお話してくれる方もおられる。こちらとしては努めたい。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 努めている。	
			(外部評価) 利用者から得た情報は、日々の介護記録に留めておられる。年に1回、利用者個々について「できることできないこと」をチェックされている。さみしさを訴えられる方には、職員がそばにすることに努めておられる。	利用者一人ひとりが、その人らしい暮らしを続けていけるよう、さらにアセスメントを充実させ、介護計画に採り入れていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人、家族様から、親戚のかたからお聞きするように努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族さまの意見はとりいれるように努力し、現状にあう計画になるように努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時や電話でご本人の暮らしとケアについて希望をお聞きして、ユニット会時、職員で話し合い、「今ご本人のしたいこと」を大切に介護計画を作成しておられる。又、「ケアプランチェック表」で計画の実行状況を記録されている。</p>	<p>さらに、利用者やご家族と話し合いながら、利用者個々の思いや意向等を十分に採り入れた介護計画の作成に向けて取り組んでいかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録のほかにユニットでの伝達ノートなどで情報共有ができるようにして、ケアし、計画も見直している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の状況、家族様の要望にこたえられるように努める。ただ、職員の数もあり、できることには限りはあると感じる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			支援している。	
			(外部評価)	
			かかりつけ医は、緊急時には夜間でも駆けつけてく れるようになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で けるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			努めている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所のできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			過去に何人か最後まで看取らせていただいている。家 族さま、かかりつけ医との連携をたいせつにし、利用 者さんに合わせ、方針をきめている。	
			(外部評価)	
			事業所では、看取り支援まで行うことを方針に掲げて おられ、入居時にご家族に希望を聞き取り、必要に応 じてかかりつけ医とご家族とも話し合うようになって いる。終末期の支援について、事業所では、経験を重 ねられ、ご家族の協力や理解が大切だと感じておられ た。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  すべての職員が実践力があるとはいえない。OJTなどで取り組んでいきたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  避難訓練は行っているが、地域との協力体制が整っているとはいえない。  (外部評価)  消防署の協力を得て避難訓練を行われた。その際の、避難口や経路についてのアドバイスをもとに間もなく、事業所独自でも訓練を行うことになっている。又、夜間を想定した訓練では、職員一人で9名の利用者の避難誘導を行われた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  日ごろから配慮するようにはなしているができていないところもあると思う。  (外部評価)  認知症の理解や対応等について、認知症のケアテキスト等も用いながら、事業所全体で具体的なケアについて勉強をされている。見守り重視で、利用者の自主性を尊重するケアに心がけておられる。	現在、利用者の中には居室で長い時間を過ごされる方や外出、入浴に気がすすまない方も多くおられる。職員の利用者に対する言葉かけや対応等のさらなるスキルアップから、利用者のその人らしい暮らしを支援していかれてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	毎日、全員の希望を優先するのは難しいが、公平に、皆さんが気持ちよくすごせるように努めている。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	洋服の希望や髪形の希望など、聞くようにしている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	食事は一人一人の希望をきき、順番になるが希望に沿うようにしている。できる方、好きな方には準備や片付けをてつだってもらっている。
			(外部評価)	
				土用の丑の日にはウナギを皆で食べたり、行事ごとには、お刺身等も楽しめるよう配慮されている。又、利用者の食欲が低下したような時には、料理の得意な職員が利用者の食事の希望を探り、お好きなものを作っておられる。利用者の状態や好みを踏まえ、肉もミンチ肉を使う等、ユニット毎に工夫されている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	支援している。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	支援している。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			支援している。	
			(外部評価)	
			利用者の自分の力で排泄をしたいという気持ちを大切に居室にポータブルトイレを置き、ご自分で排泄できるようにしている方もある。便秘がちな方には、腹部マッサージをされたり、野菜を多く摂る等、配慮して気持ちよく排泄できるよう努めておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			個々に応じて、対応している。(センナ茶、運動、下剤など)	
			(外部評価)	
			なるべく本人の希望に沿うようにしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			なるべく本人の希望に沿うようにしている。	
			(外部評価)	
			夜間、入浴される方や脱衣の仕方、髪洗い方等についても、こだわりや希望に合わせて支援されている。又、若年の利用者等には、特に同性介助や羞恥心にも配慮されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買い物、お参りなどはなるべく希望に沿うようにしている。しかし遠方への支援がなかなかできていない。	
			(外部評価) 食材の買い物に出かけることもある。玄関前にベンチが設置されており、外の風に触れることもある。	事業所では日向ぼっこをする機会等、外に出る機会を増やしていきたいと考えておられる。さらに、ご本人が行きたいところを探り、支援するような取り組みもすすめてみてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	季節の花を飾ったり、庭で育った野菜をみてもらったりしている。空調、音などには配慮している。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	ウッドデッキ、庭、玄関前のソファ、玄関外にあるベンチなどで利用者さんが思い思いにすごされている。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	入居時から、ご本人の使い慣れた物、好きな物を持ってきていただくようにお話しして持参してもらっている。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	見守りながら、できることはしていただいている。病気のため依頼心が強い方には難しい場合がある。	
			(外部評価)		